

介護付き老人ホームで市  
外部の医療機関  
連携が必須条件

川崎市は18日、来年1月  
から募集を行う介護付き有  
料老人ホームの運営事業者  
について、外部の医療機関  
との協力連携関係を新たに  
必須条件に加えたことを明  
らかにした。

医療依存度が高い高齢者  
にも対応できるよう態勢を  
整備しておくことが目的。

入居者の健康状態の継続的  
な記録や医療機関との協力  
態勢の取り決めなど介護保  
険の「医療機関連携加算」  
を受けられる要件を満たす  
ことが応募資格となる。同  
日の市議会本会議で無所属  
の三宅隆介氏（多摩区）の  
一般質問に答えた。

三宅氏は市内の介護付き  
有料老人ホームで起きた入  
居者3人の転落死に関して  
「通常は筋力が衰えた高齢  
者がベランダを自力で乗り  
越えるのは考えにくいとき  
れるが、例外的に意識障害  
を起こし、通常ではない力  
を発揮する場合もあるとい  
う」と説明し、筋力や関節  
の状態、平衡感覚など入居  
者の医学的管理の必要性を  
求めた。（高本 雅通）